

科目名 (科目番号)	医療安全管理学演習 (時間割参照)	教員名	窪田 哲朗, 他	学科等	臨床検査	必修	履修年次	4
				曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
				授業形態	演習	オフィスアワー	火1・B203研究室	
授業概要	臨床検査技師の責任及び業務の範囲を理解し、感染管理及び医療安全と患者接遇に配慮して、適切に採血、静脈路への成分採血装置の接続並びに操作、運動誘発電位検査・体性感覚誘発電位検査に係る電極装着・脱着、超音波検査における静脈路からの造影剤注入、直腸肛門機能検査、持続皮下グルコース測定、検体採取が現場で最低限は実施できる能力を身につける。また、これらに伴う危険因子を認識し、合併症の発生時に適切に対処できる能力を身につける。医療事故等発生 of 要因分析とその対策について学ぶ。							
目的・目標	目的:臨床検査技師の業務拡大に伴って求められている上記の授業概要に示した内容をしっかり身につける。 目標:医療安全管理に係る基本的知識を身につけ、基本的手技を正しく実施できるようにする。							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	医療倫理, 医療安全	到達目標:医療倫理, 医療安全, 法的知識と責任範囲について説明できる。 学習内容:医療倫理, 医療安全, 法的知識と責任範囲					
	2	感染管理	到達目標:感染管理に関する基本事項を理解し, 正しく実施できる。 学習内容:感染対策, 標準予防策, PPEの使用法, 手指衛生, 感染経路別予防策					
	3	合併症と医療事故	到達目標:検査手技の合併症及び医療事故について理解する。 学習内容:インシデント・アクシデント報告, 患者取り違え, 検体取り違え, 事故への対応					
	4	患者急変時の対応	到達目標:想定される患者の急変に適切に対応できる。 学習内容:患者急変時の対応法					
	5	各種採血法と注意事項・安全管理	到達目標:採血に関する基礎知識を習得し, 安全に実施することができる。 学習内容:採血時の安全管理, 採血に際しての注意事項, 採血の種類, 採血の部位と手段, 採血行為の範囲, 採血に伴う静脈路確保(電解質輸液の注入を含む)					
	6	各種検査等の手技に伴う注意事項・安全管理 (1)	到達目標:静脈路への成分採血装置の接続並びに操作について説明できる。 学習内容:静脈路への成分採血装置の接続並びに操作					
	7	各種検査等の手技に伴う注意事項・安全管理 (2)	到達目標:運動誘発電位検査・体性感覚誘発電位検査に係る注意事項を説明できる。 学習内容:運動誘発電位検査・体性感覚誘発電位検査に係る電極装着(針電極含む)・脱着					
	8	各種検査等の手技に伴う注意事項・安全管理 (3)	到達目標:超音波検査における静脈路からの造影剤注入に係る注意事項を説明できる。 学習内容:超音波検査における静脈路からの造影剤注入					
	9	各種検査等の手技に伴う注意事項・安全管理 (4)	到達目標:直腸肛門機能検査, 持続皮下グルコース測定に係る注意事項を説明できる。 学習内容:直腸肛門機能検査, 持続皮下グルコース測定					
	10	皮膚表在組織病変部からの採取実習	到達目標:病変部の状態に応じて検体採取を正しく実施できる。 学習内容:皮膚の構造, 各種疾患別の検体採取手技, 注意事項, 安全管理					
	11	喀痰吸引における注意事項・安全管理	到達目標:喀痰吸引(気管カニューレ内部からの採取も含む)を正しく実施できる。 学習内容:喀痰吸引(気管カニューレ内部からの採取も含む)法, 注意事項, 安全管理					
	12	経口, 経鼻又は気管カニューレ内部からの喀痰吸引実習	到達目標:経口, 経鼻又は気管カニューレ内部からの喀痰吸引を正しく実施できる。 学習内容:経口, 経鼻又は気管カニューレ内部からの喀痰吸引, 注意事項, 安全管理					
	13	鼻腔拭い液および咽頭拭い液の採取実習	到達目標:鼻腔拭い液および咽頭拭い液の採取を正しく実施できる。 学習内容:鼻腔の解剖学, 鼻腔拭い液および咽頭拭い液の採取, 注意事項, 安全管理					
	14	鼻腔吸引液の採取実習	到達目標:鼻腔吸引液の採取を正しく実施できる。 学習内容:鼻腔吸引液の採取, 注意事項, 安全管理					
15	消化管内視鏡検査による組織検体採取における注意事項・安全管理	到達目標:消化管内視鏡検査による組織検体採取時の注意事項を説明できる。 学習内容:消化管内視鏡検査による組織検体採取時の注意事項						
成績評価の方法・基準	期末試験 (100%) (対面・オンライン共通)							
教科書	医療安全管理学 第2版			諏訪部章, 高木康, 松本哲哉 編		医歯薬出版		
参考図書								
教員からのメッセージ	臨床検査技師の業務拡大に伴い, 上記のような手技を実施できるようになりました。安全に実施できるよう, 基礎知識と基本的手技をしっかりと学んでください。医療現場の実務経験がある医師, 臨床検査技師が担当します。							